

取扱説明書 - 詳細版 -

プロジェクター

SP-1J

(形名：SP-1)

【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節を行うメニューについて説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



設定・調節	2 - 2	プレゼンテーションツール	2 - 35
メニュー機能の使い方	2 - 2	PC レス プレゼンテーション	2 - 35
簡単メニュー	2 - 4	USB ディスプレイ	
映像メニュー	2 - 6	(Windows コンピュータ)	2 - 45
表示メニュー	2 - 10	USB ディスプレイ	
入力メニュー	2 - 12	(Mac コンピュータ)	2 - 49
設置メニュー	2 - 16		
オーディオメニュー	2 - 18		
スクリーンメニュー	2 - 19		
その他メニュー	2 - 24		
セキュリティメニュー	2 - 29		

お知らせ

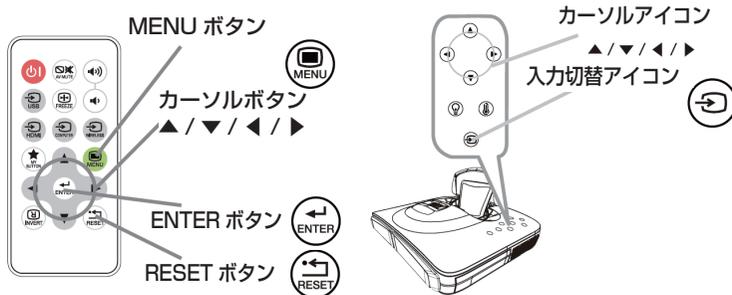
- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

設定・調節

メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。

本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、「詳細メニュー」があります。詳細メニューは、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」の機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



メニューの表示と操作ボタン

本機のメニュー操作には、主に上図のボタンを使用します。入力切替アイコンは多くの場合に ENTER ボタンと同様にご使用いただけます。

はじめに操作パネルのカーソルアイコン (▲/▼/◀/▶) にタッチするか、またはリモコンの MENU ボタンを押してください。

「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていた方のメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。メニューでは、現在選択されている項目が橙色の反転表示 (または枠) でカーソル表示されます。

メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの MENU ボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルアイコン ◀ にタッチするか、カーソルボタン ◀ または ENTER ボタンを押します。また、なにも操作しない状態が約 30 秒間続くと、自動的に終了します。

1. メニューを表示するには、リモコンの MENU ボタンを押すか、プロジェクターのカーソルアイコンにタッチします。

■簡単メニューの操作

1. カーソルボタン ▲ / ▼ またはカーソルアイコン ▲ / ▼ で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン ◀ / ▶ またはカーソルアイコン ◀ / ▶ で、選択した項目の設定、調節および実行することができます。



簡単メニュー

■詳細メニューの操作

1. カーソルボタン ▲ / ▼ またはカーソルアイコン ▲ / ▼ で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
2. カーソルアイコン ▶ にタッチするか、カーソルボタン ▶ または ENTER ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルアイコン ▲ / ▼ またはカーソルボタン ▲ / ▼ で選択してください。
3. カーソルアイコン ▶ をタッチするか、カーソルボタン ▶ または ENTER ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。画面表示に従って操作してください。



詳細メニュー

(次ページにつづく)

お知らせ

- 受信信号によっては、いくつか実行できない機能があります。
- 操作中の項目を元に戻したいときには、RESET ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（「表示言語」、「音量」など）はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルアイコン ◀ をタッチするか、カーソルボタン ◀ を押してください。
- メニューの操作にどのボタンを使用するかは、メニューおよびダイアログの右上または底部、カーソル表示の左右などにも表示されますので、操作の際にご参照ください。
- ほとんどの場合、リモコンのカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)と操作パネルのカーソルアイコン(▲/▼/◀/▶)は同様の操作を行えます。本書の説明でカーソル▲/▼/◀/▶などの記載をしている場合はカーソルボタン▲/▼/◀/▶とカーソルアイコン▲/▼/◀/▶のどちらでも操作できます。

■メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



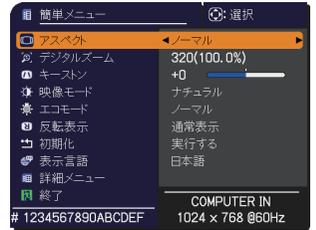
表示	動作
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。MENU ボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない/いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」に従い、簡単メニューを表示してください。

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン ▲/▼ で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト	カーソルボタン◀ / ▶で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。「表示」メニューの「アスペクト」(☞2-10)をご参照ください。
デジタルズーム	カーソルボタン◀ / ▶で、デジタルズーム（画面の倍率）を調節できます。 縮小 ↔ 拡大 「設置」メニューの「デジタルズーム」(☞2-16)をご参照ください。 ・アスペクトとデジタルズームの調整値によっては、スクリーン上のメニューが映像表示エリアの外に表示されることがあります。アスペクトとデジタルズームの値を変更することで、この問題を解決できます。
☐キーストン	カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン（縦方向の台形ひずみ）の補正量を調節できます。「設置」メニューの「☐キーストン」(☞2-16)をご参照ください。
映像モード	カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。映像モードは、ガンマ、色温度、ACCENTUALIZER 設定の組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「ユーザー」モードの詳細は、「映像」メニューの「ピクチャー クオリティ」(☞2-7)をご参照ください。 ・選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ・「デイトタイム」選択時には、騒音が大きくなります。さらに、周囲温度 27℃以上では自動的にエコモードになります。

設定項目	操作内容
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。「設置」メニューの「エコモード」(図2-17)をご参照ください。
反転表示	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。「設置」メニューの「反転表示」(図2-17)をご参照ください。
初期化	<p>「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のためのダイアログが表示されます。初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> •「表示言語」は初期化されません。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。「スクリーン」メニュー(図2-19)の「表示言語」をご参照ください。
詳細メニュー	<p>この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」(「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー)に切り替えられます。</p>
終了	カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

映像メニュー

「映像」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀/▶で、映像の明るさを調節できます。 暗く ↔ 明るく
コントラスト	カーソルボタン◀/▶で、コントラストを調節できます。 弱く ↔ 強く
色の濃さ	カーソルボタン◀/▶で、色の濃さを調節できます。 淡く ↔ 濃く <ul style="list-style-type: none"> この項目は、HDMI[®]または MHL[®] 信号受信時で、以下の(1)または(2)に該当する場合に有効となります。 (1)「入力」メニューの「HDMI / MHL フォーマット」(☞2-13)を「ビデオ」に設定している。 (2)「入力」メニューの「HDMI / MHL フォーマット」(☞2-13)を「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合。
色あい	カーソルボタン◀/▶で、色あいを調節できます。 赤っぽく ↔ 緑っぽく <ul style="list-style-type: none"> この項目は、HDMI[®]または MHL[®] 信号受信時で、以下の(1)または(2)に該当する場合に有効となります。 (1)「入力」メニューの「HDMI / MHL フォーマット」(☞2-13)を「ビデオ」に設定している。 (2)「入力」メニューの「HDMI / MHL フォーマット」(☞2-13)を「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合。

設定項目	操作内容
ピクチャー クオリティ ACCENTUALIZER	本機能は、「映像モード」が「ユーザー」に選択されている場合に調整可能です。 本機能は、視認性を向上させるための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調整します。 やわらかく ↔ くっきり ・調整するとノイズが発生することがありますが、故障ではありません。 
HDCR	明るい部屋でよりはっきりとした映像にするための機能です。 カーソルボタン▲ / ▼で調整します。 オート ↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 
マイメモリー	本機は 1 から 4 の番号のついた 4 つのメモリを備えており、「映像」メニューの設定を最大 4 組まで記憶保存することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択した項目の機能を実行します。 セーブ-1 ↔ セーブ-2 ↔ セーブ-3 ↔ セーブ-4 ↓ ↓ ロード-4 ↔ ロード-3 ↔ ロード-2 ↔ ロード-1 ■セーブ操作 「セーブ-1」、「セーブ-2」、「セーブ-3」、「セーブ-4」を実行すると、対応する番号のメモリに現在の「映像」メニューの全設定データを記憶します。 ●既にデータが記憶されているメモリにセーブ操作を行うと、メモリにデータが上書きされますのでご注意ください。 ■ロード操作 「ロード-1」、「ロード-2」、「ロード-3」、「ロード-4」を実行すると、対応する番号のメモリからデータ呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。 ●対応する番号のメモリに設定データが記憶されていない場合は選択できません。 ●ロード操作を行うと、メモリに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。 ●ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。 ● MY BUTTON ボタン を押してロード操作を行うこともできます。詳細は「その他」メニューの「マイボタン」(P.2-26)をご覧ください。

表示メニュー

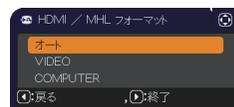
「表示」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
 ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表お
 よびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト	<p>カーソルボタン▲/▼で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。</p> <p>■コンピューター信号またはワイヤレス信号を受信している場合 ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>■HDMI®/MHL® 信号を受信している場合 ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>■USB A 端子、USB B 端子から受信している場合もしくは映像信号が入力されていない、または正常な入力信号を検出できない場合 16:10 (固定)</p> <p>・「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。</p>
オーバースキャン	<p>カーソルボタン◀/▶で、オーバースキャン(表示率)を調節できます。</p> <p>小さく(画像は大きくなります) ↔ 大きく(画像は小さくなります)</p> <p>・この項目は、HDMI® または MHL® 信号受信時で、以下の(1)または(2)に該当する場合に有効となります。</p> <p>(1)「入力」メニューの「HDMI / MHL フォーマット」(☞2-13)を「ビデオ」に設定している。</p> <p>(2)「入力」メニューの「HDMI / MHL フォーマット」(☞2-13)を「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合。</p>
垂直位置	<p>カーソルボタン◀/▶で、画面の位置を上下に調節できます。</p> <p>下へ ↔ 上へ</p> <p>・位置を動かしすぎると、画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、RESET ボタンを押して、「垂直位置」を初期設定に戻してください。</p> <p>・アナログのコンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。</p>
水平位置	<p>カーソルボタン◀/▶で、画面の位置を左右に調節できます。</p> <p>右へ ↔ 左へ</p> <p>・位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、RESET ボタンを押して、「水平位置」を初期設定に戻してください。</p> <p>・アナログのコンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。</p>

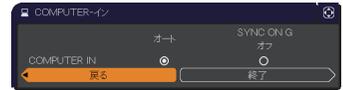
設定項目	操作内容
クロック位相	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。</p> <p>右へ ↔ 左へ</p> <ul style="list-style-type: none"> アナログのコンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。
水平サイズ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。</p> <p>小さく ↔ 大きく</p> <ul style="list-style-type: none"> アナログのコンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、RESET ボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。 調整時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。
オートアジャスト実行	<p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。</p> <p>コンピュータ信号を受信している場合</p> <p>「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 「その他」メニューの「特別な設定」—「オートアジャスト」(☑2-27) で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

設定項目	操作内容								
<p>HDMI/MHL フォーマット</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、HDMI / MHL 端子から受信する映像信号のフォーマットを選択できます。</p> <p>オート ⇄ VIDEO ⇄ COMPUTER</p> <p style="text-align: center;">↑ └──────────────────┘ ↑</p> <table border="1" data-bbox="289 349 1002 490"> <thead> <tr> <th></th> <th>特長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オート</td> <td>自動的に最適なモードを設定します。</td> </tr> <tr> <td>VIDEO</td> <td>DVD 信号として映像処理を行います。</td> </tr> <tr> <td>COMPUTER</td> <td>コンピュータ信号として映像処理を行います。</td> </tr> </tbody> </table> <p>• 「COMPUTER」または「オート」が選択され、コンピュータ信号を受信していると認識しているときは「色の濃さ」、「色あい」、「オーバースキャン」の調節はできません。</p>		特長	オート	自動的に最適なモードを設定します。	VIDEO	DVD 信号として映像処理を行います。	COMPUTER	コンピュータ信号として映像処理を行います。
	特長								
オート	自動的に最適なモードを設定します。								
VIDEO	DVD 信号として映像処理を行います。								
COMPUTER	コンピュータ信号として映像処理を行います。								
<p>デジタルレンジ</p>	<p>HDMI / MHL 端子、ワイヤレス入力から受信する映像信号のデジタル信号レンジを選択できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、レンジを選択する入力端子を選択します。</p> <p>HDMI/MHL ⇄ WIRELESS</p> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のデジタル信号レンジを選択します。</p> <p>オート ⇄ ノーマル ⇄ 拡張</p> <p style="text-align: center;">↑ └──────────────────┘ ↑</p> <table border="1" data-bbox="289 944 1002 1085"> <thead> <tr> <th></th> <th>特長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オート</td> <td>自動的に最適なモードを設定します。</td> </tr> <tr> <td>ノーマル</td> <td>DVD 信号レベル (16-235) に合わせます。</td> </tr> <tr> <td>拡張</td> <td>コンピュータ信号レベル (0-255) に合わせます。</td> </tr> </tbody> </table> <p>• 映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。</p>		特長	オート	自動的に最適なモードを設定します。	ノーマル	DVD 信号レベル (16-235) に合わせます。	拡張	コンピュータ信号レベル (0-255) に合わせます。
	特長								
オート	自動的に最適なモードを設定します。								
ノーマル	DVD 信号レベル (16-235) に合わせます。								
拡張	コンピュータ信号レベル (0-255) に合わせます。								



入力メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>COMPUTER-IN</p>	<p>COMPUTER IN 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の、信号受信モードを設定できます。 カーソルボタン◀/▶で、入力される映像信号の受信モードを選択してください。</p> <p style="text-align: center;">オート ↔ SYNC ON G オフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC ON G 信号を受信できるようになります。 ・「オート」モードでは映像が正しく表示されないことがあるかもしれません。そのような場合は、いったん信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
<p>フレームロック</p>	<p>各端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カーソルボタン▲/▼で、設定する入力端子を選択します。 2) カーソルボタン◀/▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。 <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能は、垂直周波数が 49 ~ 51、59 ~ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 ・「有効」を選択すると動画がよりスムーズに表示されます。 ・本機能は HDMI/MHL 端子 (480i@60、576i@50 または 1080i@50/60) からの信号には使用できません。 ・この機能により画質が劣化することがあります。その場合は OFF を選択してください。



設定項目	操作内容
<p>解像度</p>	<p>COMPUTER IN 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>■「オート」: 入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■「標準」: 設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>■「カスタム」: 「カスタム」を選択すると、「解像度_カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。</p> <p>入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタン (または入力切替アイコン) を押してください。</p> <p>「解像度設定を変更しますか?」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタン (または入力切替アイコン) を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>● すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</p>  <p>STANDARD</p>  <p>CUSTOM</p>  

設置メニュー

「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
デジタルズーム	カーソルボタン◀ / ▶で、デジタルズーム（画面の倍率）を調節できます。 縮小 ↔ 拡大 <ul style="list-style-type: none"> 「アスペクト」、「デジタルズーム」の設定によっては、メニューが画面からはみ出る場合があります。その場合は、各々の設定を変えて適正に表示されるようにしてください。
デジタルシフト	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、画面の位置を調節できます。 <ul style="list-style-type: none"> 本機能はデジタルズームが 100% (320) に設定されていると使用できません。
画像表示位置 (水平)	カーソルボタン▲ / ▼で、画像の表示位置を選択できます。 左 ↔ 中央 ↔ 右 本機能は以下のときには動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> アスペクトを「16 : 9」、または「16 : 10」に設定しているとき。 アスペクトを「ノーマル」に設定し、受信している信号のアスペクトが 16 : 9、16 : 10 もしくは、横の長さが 16 : 10 よりも長いとき。 映像信号が入力されていないか、周波数が安定しない、または対応範囲外の映像信号が入力されているとき。 ブランク画面、またはテンプレート画面が表示されているとき。
◻ キーストン	カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン (◻ 方向の台形歪み) の補正量を調節できます。 画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく

設定項目	操作内容
<p>オート エコモード</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、オートエコモードを切り替えられます。</p> <p>オン ↔ オフ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「オン」を選択すると、「エコモード」(図2-17)の設定にかかわらず起動時は「エコ」モードに設定され、起動時に数十秒間「オートエコモード」と画面に表示します。
<p>エコモード</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、エコモードを切り替えられます。</p> <p>ノーマル ↔ エコ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「エコ」モードでは画像の明るさもやや抑えられます。 • 「エコ」モードを選択すると、本機使用中の消費電力を抑え、動作音を低減できます。 • 「オートエコモード」が「オン」に設定されていると、この機能の設定にかかわらず、毎回起動時には「エコ」モードに設定されます。
<p>反転表示</p>	<p>カーソルボタン▶を押して、反転表示の設定変更ダイアログを表示します。</p> <p>通常表示 ⇄ 左右反転 ⇄ 上下反転 ⇄ 上下左右反転</p>  <p>カーソルボタン▲/▼で、画面の反転表示を選択できます。</p>
<p>スタンバイ モード</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、本機がスタンバイ状態のときの消費電力モードを選択できます。</p> <p>通常 ⇄ 省電力</p> <p>「省電力」を選択すると、消費電力を下げることはできますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク機能は無効になります。 • USB A 端子からの通電ができなくなります。

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容						
音量	カーソルボタン◀/▶で、音量を調節できます。 小さく(−側) ↔ 大きく(+側)						
スピーカー	カーソルボタン▲/▼で、内蔵スピーカーの有効/無効を選択できます。 オン ↔ オフ 「オフ」が選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。						
音声入力設定	<p>(1) で選択した入力端子からの画像信号が表示されているあいだ、(2) で選択した入力端子からの音声信号が本機の内蔵スピーカーから出力されます。ただし、スピーカーがオフに設定されている場合は内蔵スピーカーは動作しません。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、映像の入力端子を選択してください。</p> <p>(2) カーソルボタン◀/▶で、音声入力端子または消音のアイコンを選択してください。</p> <p>アイコンは以下(の端子)を示します</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">No.1: AUDIO IN 端子</td> <td style="width: 50%;">No.2: HDMI/MHL 端子</td> </tr> <tr> <td>No.3: WIRELESS 入力</td> <td>No.4: USB A 端子</td> </tr> <tr> <td>No.5: USB B 端子</td> <td>🔇: 消音</td> </tr> </table> <p>• No.2 から 5 の端子からの音声は、各(映像)端子にのみ選択できます。</p>	No.1: AUDIO IN 端子	No.2: HDMI/MHL 端子	No.3: WIRELESS 入力	No.4: USB A 端子	No.5: USB B 端子	🔇: 消音
No.1: AUDIO IN 端子	No.2: HDMI/MHL 端子						
No.3: WIRELESS 入力	No.4: USB A 端子						
No.5: USB B 端子	🔇: 消音						

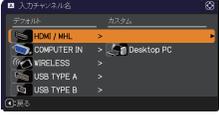
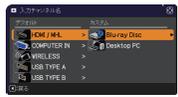


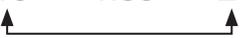
スクリーンメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>初期画面</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、初期画面を選択できます。 「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない（入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など）ときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない  </p> <p>「マイスクリーン」：「マイスクリーン」（2-20）で登録したお好みの映像が表示されます。</p> <p>「オリジナル」：本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。</p> <p>「表示しない」：黒の無地画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で「オートブランク」（2-19）で設定した色の無地画面に変わります。 マイスクリーンパスワード機能が有効に設定（2-30）されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。
<p>マイスクリーン</p>	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像（マイスクリーン）を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。</p> <p>「マイスクリーン」を選択すると、「この画像の取り込みを開始しますか？」ダイアログが表示されます。登録したい映像が画面に表示されるのを待って ENTER ボタン（または入力切替アイコン）を押してください。</p> <div data-bbox="974 840 1275 904" data-label="Image"> </div> <p>画像を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合は RESET ボタンを押してください。登録には数分ほどかかります。</p> <div data-bbox="1008 966 1275 1023" data-label="Image"> </div> <p>登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。</p> <p>登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、「マイスクリーンロック」（2-21）が「有効」に設定されているときは選択できません。 この項目は、マイスクリーンパスワード機能（2-30）が有効に設定されているときは選択できません。 この機能はワイヤレス、USB A 端子、USB B 端子、HDMI/MHL 端子からの映像信号を受信しているときは設定できません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーン ロック</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この項目は、マイスクリーンパスワード機能 (☑2-30) が有効に設定されているときは選択できません。
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、メッセージモードを選択できます。</p> <p>表示する ↔ 表示しない</p> <p>「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オート 実行中」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号は同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「検索中…」 ・「信号検出中…」 ・「オート エコモード」 ・「エコモード」の変更による表示 ・入力切替による入力信号表示 ・「アスペクト」の変更による縦横比の表示 ・「映像モード」の変更による表示 ・「操作できないボタンが入力されました。」 ・「マイメモリ」の変更による表示 ・FREEZE ボタンを押したときの「静止」 ・「テンプレート」の変更による表示 ・「デジタルズーム」調整による表示 <p>・「表示しない」に設定したときは、FREEZE ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。FREEZE ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。映像の静止を解除するには、もう一度FREEZE ボタンを押す必要があります。</p>

設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;">入力 チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子にチャンネル名を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。カスタム入力チャンネル名ダイアログが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で、選択した端子に割り振りたいアイコンを選択し、ENTER ボタン（または入力切替アイコン）を押してください。アイコンに応じた端子の名称が、右側の「プレビュー」に表示されます。</p> <p>(3) カーソルボタン▲/▼で選択した端子に割り振りたい番号を選択し、ENTER ボタン（または入力切替アイコン）を押してください。</p> <p>(4) チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または入力切替アイコン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または入力切替アイコン）を押します。</p> <p>(5) 端子の名称を手動入力で変更したい場合は、「名称変更」を選択して ENTER ボタン（または入力切替アイコン）を押してください。名称入力ダイアログが表示されます。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">     </div>

設定項目	操作内容
<p>オート パワーオフ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ライトを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p>長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分：無効）</p>  <p>オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 <p>手動で電源を切る方法については「電源を切る」（☞1-34）をご参照ください。</p>
<p>USB TYPE B</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、USB TYPE B 端子の用途を切り替えられます。</p> <p>この機能を使うために本機の USB TYPE B 端子は、コンピュータの USB(A) 端子と接続してください。</p> <p>マウス ↔ USB ディスプレイ</p> <p>「マウス」：リモコンをコンピュータの簡易マウス／キーボードとしてご使用いただけます。</p> <p>「USB ディスプレイ」：USB TYPE B 端子はコンピュータからの映像信号入力端子として機能します（☞2-45）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USB TYPE B 端子からの映像を表示するには数秒かかる場合があります。 ・以下の場合には、USB TYPE B 端子が映像入力端子として使用できないことを通知するメッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - この項目が「マウス」に設定されているのに、USB TYPE B 端子を映像信号の入力端子として使用しようとしている場合 ・ジェスチャー機能でコンピュータを制御する場合は、「マウス」に設定してください。
<p>ジェスチャー 機能</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ジェスチャー機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」：ジェスチャー機能を有効にします。</p> <p>「無効」：ジェスチャー機能を無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USB TYPE B が「USB ディスプレイ」に設定されている場合は、USB TYPE B 端子を使用したジェスチャー機能は無効になります。
<p>ジェスチャー 感度</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、ジェスチャーセンサの感度を調節できます。</p> <p>低く ↔ 高く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作時に反応が悪い場合は数値を上げてください。 ・感度を上げると環境により誤作動する場合があります。 ・「ジェスチャー機能」が「有効」のときのみ調節可能です。
<p>ジェスチャー 間隔</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ジェスチャー判定の間隔を調節できます。</p> <p>1s ↔ 1.5s ↔ 2s</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャー操作後に異なるジェスチャー操作が入りやすい場合は時間を長くして使用してください。 ・「ジェスチャー機能」が「有効」のときのみ調節可能です。
<p>使用時間</p>	<p>メニューに表示されている数字は、本機の使用時間です。</p> <p>本項目は表示のみで、選択できません。</p>

設定項目	操作内容
マイボタン	<p>リモコンの MY BUTTON ボタンに機能を割り当てることができます。</p> <p>1) カーソルボタン▶または ENTER ボタンでマイボタンセットアップダイアログを表示します。</p> <p>2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でマイボタンに割り当てる機能を選択し、ENTER ボタンまたは入力切替アイコンを押して設定を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB TYPE A : USB TYPE A 端子からの信号を選択します。 • USB TYPE B : USB TYPE B 端子からの信号を選択します (USB ディスプレイ)。 • スライドショー : USB TYPE A 端子からの信号を選択し、スライドショーを開始します。 • インフォメーション : マイボタンを押すたびに、「システム_ インフォメーション」ダイアログ (使用時間)、「入力_ インフォメーション」ダイアログ (図2-28)、「ネットワークインフォメーション」ダイアログを表示します。 • マイメモリー : 「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。(図2-9) マイメモリーを設定したときのマイボタン動作 MY BUTTON ボタンを押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが表示されます。設定データがメモリに保存されていれば、MY BUTTON ボタンを押すたびに、順次設定データを呼び出し、適用します。 メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」ダイアログが表示されます。 • 映像モード : 映像モードを変更します。(図2-4) • テンプレート : テンプレート画面を表示します。(図2-23) • デジタルズーム : デジタルズームダイアログを表示します。 • デジタルシフト : デジタルシフトダイアログを表示します。 • 解像度 : 画面の解像度のメニューを表示します。(図2-15) • エコモード : エコモードを変更します。(図2-17) • ジェスチャー機能 : ジェスチャー機能の有効 / 無効を切り替えます。(図2-25) • オート : 画面の自動調整を実行します。(図2-11)



設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>キーロック 操作パネルアイコン、またはリモコンのボタン（キー）をロックすることができます。</p> <p>1) カーソルボタン▲/▼で、操作パネルまたはリモコンを選択します。</p> <p>2) カーソルボタン◀/▶で、キーロック機能の有効/無効を設定します。</p> <p>「有効」を選ぶと、スタンバイ/オンアイコン以外の操作パネルまたはリモコンのボタンを押しても反応しなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • いたずらや誤操作を防止したい場合などに、この機能をご使用ください。 • 操作パネルとリモコンの両方を「有効」（ロック）に設定することはできません。
	<p>インフォメーション この項目を選択すると「入力_インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> • "フレームロック" と表示されている場合は、フレームロック機能（図2-14）が動作していることを示します。 • 無信号と同期外れ状態では、この項目は選択できません。 • 「セキュリティ」-「マイテキスト表示」（図2-33）が「有効」に設定されていると、「入力_インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	<p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。「使用時間」、「表示言語」、「オートブランク」、「ネットワーク」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>工場出荷設定を実施した場合は、高地モードを必ず設定し直してください。（図2-27）</p>

セキュリティメニュー

本機はセキュリティ機能を備えています。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書はかならず大切に保管してください。

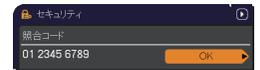
1. 「パスワードを入力してください」を選択し、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時には、「1205」に設定されています。カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが再度表示されます。
 - セキュリティパスワードは変更できません（下記）。工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。
 - 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
3. 「セキュリティ」メニューでは、下表の項目を操作することができます。



応用編

セキュリティパスワードを忘れた場合

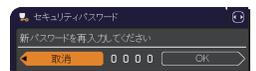
- (1) 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、RESETボタン、または操作パネルのカーソルアイコン▶と入力切替アイコンを同時に3秒間押すと、「セキュリティ／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
- (2) 10桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。

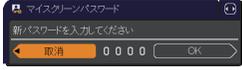
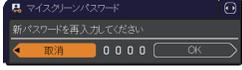
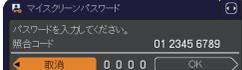


お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19

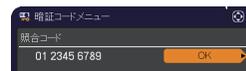
- 「セキュリティパスワード／照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。

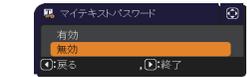
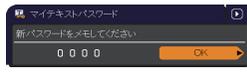
設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	(1) 「新パスワードを入力してください」ダイアログで、カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、新パスワードを入力してください。 (2) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押します。 (3) 「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 (4) カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、新しいセキュリティパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約30秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間に新しいパスワードをメモしてください。 ENTERボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューに戻ります。 ・セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。



設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード</p>	<p>マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p>1. マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1) カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンパスワード有効/無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>2) カーソルボタン◀/▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲/▼でパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>3) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください。」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイスクリーンパスワード有効/無効メニューに戻ります。</p> <p>マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」（☞2-20）、および「マイスクリーンロック」（☞2-21）を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。</p> <p>●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。</p> <p>2. マイスクリーンパスワードを無効にする</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンパスワード有効/無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると、マイスクリーンパスワード機能は無効になり、マイスクリーンパスワード有効/無効メニューに戻ります。間違ったパスワードを入力するとメニューが閉じます。</p> <p>3. パスワードを忘れた場合</p> <p>1) カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンパスワード有効/無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>2) 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  </div>

設定項目	操作内容
<p>暗証コード ロック</p>	<p>暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されないかぎり、本機を使用できなくする機能です。</p> <p>1. 暗証コードロック機能を有効にする (暗証コードを設定・登録する)</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、暗証コードロック 有効 / 無効メニューで「有効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶と、COMPUTER ボタンまたは入力切替アイコンで、4つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再度入力してください。暗証コードの登録が完了します。「暗証コードを入力してください」ダイアログ、または「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されてから、約55秒何も入力しないと、ダイアログが閉じます。</p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に電源を入れるたびに、暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り本機を使用できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●暗証コードを忘れないようにしてください。 ●この機能は、一度本機の電源を完全に切った (☑1-34) 後で、再度電源を入れないと有効になりません。 <p>2. 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、暗証コードロック有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを3回入力すると、ライトが消灯します。また、ダイアログが表示されてから約5分間以内に暗証コードを入力しないと、ライトが消灯します。</p> <p>3. 暗証コードを忘れた場合</p> <p>1) 本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、RESET ボタン、または操作パネルのカーソルアイコン▶と入力切替アイコンを同時に、3秒間押してください。「暗証コードメニュー / 照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁の暗証コード照合コードが表示されています。</p> <p>2) 10桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ダイアログが表示されてから約5分間以内に暗証コードを入力しないと、ライトが消灯します。



設定項目	操作内容
<p>マイテキストパスワード</p>	<p>「マイテキスト入力」（2-33）で登録した、マイテキストの上書きを防止することができます。マイテキストパスワード機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。</p> <p>1 マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキストパスワード有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で「マイテキストパスワード」メニューの「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使ってパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください。」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>2 マイテキストパスワード機能を無効にする</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って、「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。</p> <p>3 マイテキストパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のマイテキストパスワード照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">      </div>

設定項目	操作内容
<p>マイテキスト表示</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で「マイテキスト表示 有効/無効」メニューの「有効」または「無効」を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、初期画面と「入力_インフォメーション」ダイアログに、登録したマイテキストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マイテキストパスワード」が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。  
<p>マイテキスト入力</p>	<p>(1) 最初の3行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。カーソル▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、リモコンの ENTER ボタンまたは入力切替アイコンを押して入力してください。RESET ボタンもしくはカーソルアイコン◀と入力切替アイコンを同時に押すことで1文字削除することができます。また、カーソルを「消去」または「全消去」に移動させて、ENTER ボタンまたは入力切替アイコンを押すことで、1文字または全ての文字を削除することができます。マイテキストは1行につき最大24文字入力できます。</p> <p>(2) マイテキストを編集するには、カーソル▲/▼/◀/▶で、マイテキストが表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替アイコンを押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(3) テキストの入力・編集が終わったら、1番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソル▶、ENTER ボタンまたは入力切替アイコンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソル◀、ENTER ボタンまたは入力切替アイコンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マイテキストパスワード」が「無効」になっているときのみ、「マイテキスト入力」の操作が行えます。   

設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;">NFC</p>	<p style="text-align: center;">ネットワーク 設定ロック</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼でセキュリティメニューの NFC を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してセキュリティ_NFC メニューを表示してください。</p> <p>(2) カーソルボタン▲ / ▼でセキュリティ_NFC メニューのネットワーク設定ロックを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してネットワーク設定ロック 有効 / 無効メニューを表示してください。</p> <p>(3) カーソルボタン▲ / ▼でネットワーク設定ロック 有効 / 無効メニューの有効または無効を選択してください。 有効に設定すると、NFC 機能搭載のスマートフォンやタブレット（以下 NFC 端末と呼ぶ）から、プロジェクターのネットワーク設定を変更できないようロックします。 無効に設定すると、NFC 端末からプロジェクターのネットワーク設定が変更できるようロックを解除します。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; gap: 10px;">   </div>

プレゼンテーションツール

本機では、プレゼンテーションを簡単に、すばやく行うための以下の便利なツールをご利用頂けます。

- PC レス プレゼンテーション (☞ 下記)
- USB ディスプレイ (☞2-45)
- 描画機能

描画機能は、USB TYPE A 端子に接続したペンタブレットや USB マウスを使って、プロジェクターの画面上に画を描く機能です。詳細は、周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

PC レス プレゼンテーション

USB TYPE A 端子からの映像信号を選択すると、PC レス プレゼンテーションを開始します。PC レス プレゼンテーションでは、本機の **USB TYPE A** 端子に挿入された USB メモリの画像データを、以下の 3 つの表示モードで表示させることができます。この機能を使用すると、コンピュータを使わずにプレゼンテーションを行うことができます。

- サムネイルモード (☞2-36)
- フルスクリーンモード (☞2-41)
- スライドショーモード (☞2-43)

[対応記録メディアとファイル形式]

- USB メモリ (USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダー)

お知らせ

- 複数のドライブとして認識される USB リーダー (アダプタ) は、正常に動作しない場合があります。
- USB ハブは正常に動作しない場合があります。
- セキュリティ USB メモリは正常に動作しない場合があります。
- USB メモリを挿入したり取外すときにはご注意ください。(☞2-39, 40)

[対応記録媒体フォーマット]

- FAT12、FAT16、FAT32

お知らせ

- NTFS フォーマットには対応しておりません。

[対応ファイル形式]

- JPEG (.jpeg, .jpg) : プログレッシブエンコード JPEG には対応していません。
- Bitmap (.bmp) : 16bit、および圧縮形式の BMP には対応していません。
- PNG (.png) : インターレース PNG には対応していません。
- GIF (.gif) : 動画ファイルは再生できません。
- Movie (.avi, .mov) * 対応ビデオフォーマット : Motion-JPEG
 対応オーディオフォーマット : WAV (Linear PCM, Stereo 16bit), IMA-ADPCM

お知らせ

- 解像度が下記より大きいファイルは表示されません。
 1280 x 800 (静止画), 768 x 576 (動画)
 (*一部のファイルは表示できない場合があります。)
- 解像度が 36 x 36 より小さいファイルは表示されません。
- 解像度が 100 x 100 より小さいファイルは表示されない場合があります。
- フレームレートが 15fps を超える動画は、表示できません。
- ビットレートが 20Mbps を超える動画は、表示できません。
- 一部のファイルは表示できない場合があります。
- サムネイルモードで画像データの内容 (サムネイル画像) を表示できない場合は、枠のみ表示されます。
- 対応しているファイル形式、動画形式と音声形式の組み合わせであっても、動画を再生できない場合があります。

サムネイルモード

サムネイルモードでは、USB メモリに保存された画像をサムネイル表示し、画面の上下にサムネイルメニューが表示されます。1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。サムネイルモードからは、フルスクリーンモード、およびスライドショーモードに移ることができます。



スライドショーアイコン

画像番号の下に表示されているアイコンは、以下のようにスライドショーモードでの画像の設定を示しています。

アイコン	表示内容
	スライドショーで表示されます。
	スライドショーで最初に表示されます。
	スライドショーで最後に表示されます。
	スライドショーでは表示されません。
	スライドショーでは、この画像のみが表示されます。

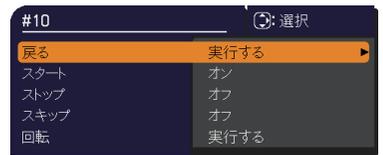
サムネイルモードの操作

サムネイルモードでは、操作パネル、リモコンの各ボタンまたはジェスチャー機能で以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	ジェスチャー機能	
▲/▼/◀/▶	▲/▼/◀/▶	-	カーソルを移動します
ENTER	入力切替アイコン	-	<ul style="list-style-type: none"> • フォルダを選択していた場合は、フォルダを開き、フォルダ内のファイルやフォルダをサムネイル表示します。 • サムネイル画像を選択していた場合は、画像をフルスクリーンモードで表示します。 • 画像番号を選択していた場合は、画像の設定メニューを表示します (📖 下記)。
-	-	[Page Up] [Page Down]	ページを切り替えます

画像の設定メニュー

画像番号を選択して ENTER ボタン (または入力切替アイコン) を押すと、選択された画像の設定メニューが表示されます。画像の設定メニューでは、選択された画像のスライドショーモードなどの表示を設定できます。



設定項目	操作内容
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最初の画像になります。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最後の画像になります。
スキップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンにすると、選択した画像はスライドショーモードでは表示されなくなります。
回転	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択された画像が 90 度時計回りに回転します。

PC レス プレゼンテーション (つづき)

サムネイルメニュー

サムネイル画面の上下に表示される、サムネイルメニューから、PC レス プレゼンテーションを操作することができます。

設定項目	操作内容	
	上位のフォルダに移動します。	
並び替え	ファイルやフォルダを並び替えます。	
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。	
名称昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、名称の昇順に並べ替えます。	
名称降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、名称の降順に並べ替えます。	
日付昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の昇順に並べ替えます。	
日付降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の降順に並べ替えます。	
▲/▼	ページを切り替えます。	
スライドショー	スライドショーを設定、または開始します。	
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。	
プレイ	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとスライドショーを開始します。	
スタート	カーソルボタン◀/▶で、スライドショーを開始する画像番号を設定します。	
ストップ	カーソルボタン◀/▶で、スライドショーを終了する画像番号を設定します。	
インターバル	カーソルボタン◀/▶で、スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間 (1s ~ 999s) を設定します。	
プレイモード	カーソルボタン◀/▶でスライドショーの再生モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 「ワンタイム」: スライドショーを 1 回再生します。 ■ 「エンドレス」: スライドショーの最後の画像を表示すると再び最初に戻り、繰り返して再生を続けます。 	
入力	PC レスプレゼンテーションを終了し、映像信号の入力端子を USB TYPE B 端子に切り替えます。	
メニュー	本機のメニューを表示します。	
USB メモリ取外し	本機から USB メモリを取り外すときに使用します。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、安全に USB メモリを取り外せるようになります。一旦「USB メモリ取外し」を実行すると、再度 USB TYPE A 端子に USB メモリを挿入するまで、本機は、USB メモリを認識しなくなります。	
/	ファイルに音声データが含まれている場合に、音のオン/オフを切り替えます。	

! 注意

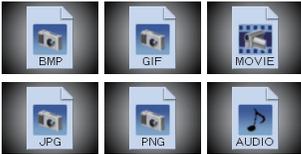
- プロジェクターの端子から USB メモリを取り外す前に、データの安全を確保するため、必ずサムネイルスクリーンの USB 取り外し機能をお使いください。

お知らせ

- ボタン操作、および画像の設定メニュー、サムネイルメニューの操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- サムネイルモードでは、1 ページ内に 20 ファイルまで表示することができます。
- PC レスプレゼンテーション中は、操作パネルの入力切替アイコンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (☰2-39) の「入力」を使用してください。
- 動画に含まれる音声データを再生すると、画質が落ちることがあります (カタカタしたりコマが飛んだりする)。画質を優先する場合は、♪ (の操作) で音声を切ってください。
- 「オーディオ」の「音声入力設定」 (☰2-18) で、USB TYPE A の設定を USB A 端子以外にしている場合は、♪ は操作できません。
- ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイル画像の代わりに、以下のエラーアイコンを表示します。



_____ ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。



サムネイル画像を表示することができないファイルは、ファイル形式アイコンで表示します。

PC レス プレゼンテーション (つづき)

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードでは、本機の画面いっぱいに 1 つの画像を表示します。
フルスクリーンで表示するには、サムネイル画面で画像を選択し、**入力切替アイコン**か **ENTER** ボタンを押してください。



フルスクリーン表示

応用編

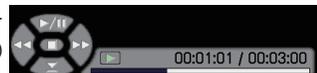
フルスクリーンモードの操作

フルスクリーンモードでは、操作パネル、リモコンの各ボタンまたはジェスチャー機能で以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	ジェスチャー機能	
▼ ▶	▼ ▶	Page Down	次の画像を表示します。
▲ ◀	▲ ◀	Page Up	前の画像を表示します。
ENTER	入力切替アイコン	-	サムネイルモードに戻ります

フルスクリーンモードでの動画の操作

フルスクリーンモードで動画を再生中に、リモコンまたは操作パネルのカーソルボタン、ENTER ボタン、入力切替アイコンのいずれかを押しと、右のような動画操作パネルが画面に表示されます。動画操作パネルが表示されている間は、操作パネル、リモコンの各ボタンまたはジェスチャー機能で以下の様に動画の再生を操作することができます。



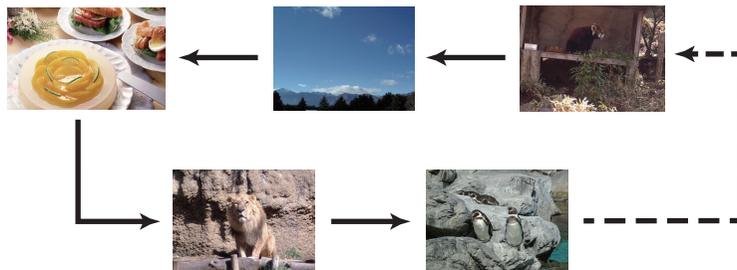
操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	ジェスチャー機能	
▲	▲	-	▶ (再生) / ⏸ (一時停止) を切り替えます
▶	▶	-	▶▶ (FF) 早送り
◀	◀	-	◀◀ (REW) 巻戻し
ENTER	入力切替アイコン	-	⏹ (停止), サムネイルモードに戻ります
-	-	Page Down	次の画像を表示します
-	-	Page Up	前の画像を表示します

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レスプレゼンテーション中は、操作パネルの入力切替アイコンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (📖2-39) の「入力」を使用してください。

スライドショーモード

スライドショーモードでは、1つのフォルダに保存された一連の画像を、フルスクリーン表示で、順ぐりに表示します。



スライドショーの表示設定は、サムネイルモードでの画像の設定メニュー (☞2-38) またはサムネイルメニュー (☞2-39)、およびプレイリスト (☞2-44) から変更できます。設定は、プレイリストに保存されます。スライドショーを開始するには、サムネイルメニューの「スライドショー」から「プレイ」を選択し、ENTER ボタン (または入力切替アイコン) を押してください。

スライドショーモードでは、操作パネル、リモコンの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	ジェスチャー機能	
ENTER	入力切替アイコン	-	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レスプレゼンテーション中は、操作パネルの入力切替アイコンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (☞2-39) の「入力」を使用してください。
- 「プレイモード」 (☞2-39) が「ワнтаイム」に設定されていると、スライドショーが終了すると、ENTER ボタン、または入力切替アイコンが押されるまで、最後の画像を表示し続けます。
- USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は、スライドショーの各設定は変更できません。

プレイリストについて

プレイリストは、表示される画像ファイルとその表示設定を決める、DOS 形式のテキストファイルです。プレイリストのファイル名は "playlist.txt" です。プレイリストは、PC レス プレゼンテーションを開始したとき、またはスライドショーを設定したときに選択していた画像ファイルがあるフォルダに自動的に作成されます。

[プレイリストの記述例]

START 2: STOP 5: INTERVAL 3: MODE 0:

001.jpg :rot1 :: ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは表示されません
 002.jpg :600 :: ←スライドショーで最初に 0.6 秒間表示されます。
 003.jpg :700 :rot1 :: ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは 0.7 秒間表示されます。
 004.jpg :::SKIP : ←スライドショーでは表示されません
 005.jpg :100 :rot2:SKIP : ←180 度回転、スライドショーで最後に 3 秒間表示され、002.jpg に戻ります。
 006.jpg :100 :rot2 :: ←スライドショーでは表示されません。

「playlist.txt」ファイルには、次の情報が含まれています。

それぞれの情報は「:」で区切られます。また、各行の最後にも「:」が必要です。2 行目以降は、1 ファイルにつき 1 行で記述します。

```
1 行目   START * :STOP * :INTERVAL * :MODE * :
2 行目   [ファイル名] : [表示期間] : [回転設定] : [スキップ] :
      :           :           :           :           :
```

START (「スタート」)、STOP (「ストップ」)、INTERVAL (「インターバル」)、MODE (「プレイモード」)、回転設定 (「回転」)、スキップ (「スキップ」) は、画像の設定メニュー (☞2-38)、またはサムネイルメニュー (☞2-39) で設定できます。

START * : スライドショーで最初に表示する画像番号を指定します。
 STOP * : スライドショーで最後に表示する画像番号を指定します。
 INTERVAL * : スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間を、1 ~ 999 (秒) の範囲で指定します。
 MODE * : スライドショーの再生モードを指定します。
 0 = ワンタイム 1 = エンドレス

[表示期間] : スライドショーでの表示期間を個別に指定します。
 0 ~ 999900 (ミリ秒) の範囲で、100 ミリ秒単位で指定します。

[回転設定] : 画像の回転を設定します。
 rot1 = 時計方向に 90 度回転 rot2 = 180 度回転
 rot3 = 時計方向に 270 度回転

[スキップ] : SKIP を設定すると、スライドショーで表示されません。

お知らせ

- スライドショーの設定は記憶媒体に格納されている「playlist.txt」ファイルに保存されます。記録媒体にファイルが存在していない場合は、自動的にファイルが生成されます。
- USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は、スライドショーの各設定は変更できません。
- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、改行コードを含めて 255 文字までです。これを超えるとプレイリストは無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストに登録できる画像ファイルは最大で 999 個です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルに登録します。フォルダ内にフォルダがある場合は、最大ファイル数はフォルダの数の分少なくなります。制限を超えたファイルはスライドショーに表示されません。
- USB メモリが保護されているか、十分な空き容量が無い場合はプレイリストを作成できません。
- スライドショーの設定については、サムネイルメニュー (☞2-39) を参照してください。

USB ディスプレイ (Windows コンピュータ)

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

USB ケーブルを介して本機に画面を送信するための最小要件は以下の通りです。

- OS : Windows® XP Home Edition / Professional Edition
Windows Vista® Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate / Enterprise
Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional /
Ultimate / Enterprise
Windows® 8
Windows® 8 Pro / Enterprise
Windows® 8.1
Windows® 8.1 Pro / Enterprise
- CPU : Pentium® 4 (2.8GHz 以上)
- グラフィックカード : 16bit、XGA 以上
- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 30MB 以上
- USB 端子
- USB ケーブル (A-MiniB) : 1 本

USB ディスプレイの開始手順

1. その他メニューで「USB TYPE B」(図2-45)の USB ディスプレイを選択します。
2. 本機の USB TYPE B 端子とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
3. USB TYPE B 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識します。本機内のアプリケーション、「LiveViewer Lite For USB」が自動的に起動してコンピュータ画面の送信を開始します。

お知らせ

- "LiveViewer Lite For USB" が自動的に起動しない場合は、以下の手順に従ってください。
 - 1) [スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
 - 2) F:\¥LiveViewerLiteForUSB.exe と入力し、[OK]をクリックします。
↑ _____ コンピュータで CD-ROM ドライブが F ドライブでない場合は、F の代わりに CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。
- スクリーンセーバ動作中は、「LiveViewer Lite For USB」が自動的に起動しません。
- パスワード保護のかかったスクリーンセーバが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止します。送信を再開するには、スクリーンセーバを終了させてください。
- USB ケーブルが接続されているにもかかわらず「接続待ち状態です。」表示が続く場合には、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくしてから再度接続し直して下さい。
- "LiveViewer Lite For USB" は、ホームページで最新版を入手してください。
ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>
ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。

"LiveViewer Lite For USB" が起動すると、コンピュータのタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。メニューから「終了」を選択することにより、コンピュータからアプリケーションを終了することができます。



お知らせ

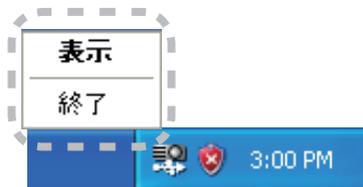
- ご使用のコンピュータにインストールされているソフトウェアによっては、"LiveViewer Lite For USB" でコンピュータ画像を転送できないことがあります。
- ファイアウォール機能を備えた任意のアプリケーションソフトウェアがコンピュータにインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
- セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、"LiveViewer Lite For USB" の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。
- USB TYPE B 端子から音声信号を選択しているときに、プロジェクターで音量（設定）を最大まで上げてはまだ音量が小さい場合は、ご使用のコンピュータから音声が出力されているか確認し、たとえば、コンピュータの音量を上げてください。
- HDMI/MHL 端子の搭載されたコンピュータをご使用の場合、USB ディスプレイ表示中に HDMI/MHL ケーブルの挿入 / 抜去を行うと、コンピュータのオーディオ設定が変更され、音声の乱れや途切れが発生する場合があります。その場合は USB ディスプレイを再起動してください。

右クリックメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると右のようなメニューが表示されます。

表示 : メインメニューを表示します。タスクトレイのアイコンは表示されなくなります。

終了 : "LiveViewer Lite for USB" を終了します。



お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で "LiveViewer Lite For USB" を終了することができます。
 - ・ USB ケーブルを外す。
 - ・ 映像入力端子を切り替える。
 - ・ 「その他」メニューの「USB TYPE B」(図2-25)を「マウス」に設定する。
- "LiveViewer Lite For USB" を再起動するには、USB ケーブルを外して再接続するか、映像入力端子を一度切り替えて再度 USB TYPE B 端子を選択してください。

メインメニュー

右クリックメニューで「表示」を選択すると、右のようなメインメニューが表示されます。

(1) キャプチャ開始ボタン

本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。

画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン

コンピュータ画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン

コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。

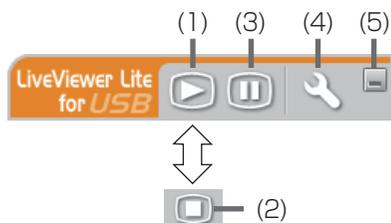
コンピュータ上での作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

(4) オプションボタン

オプションメニューを表示します。(図2-48)

(5) 最小化ボタン

メインメニューを閉じ、コンピュータのタスクトレイにアイコンで表示します。



お知らせ

- キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

オプションメニュー

メインメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。

(1) “画質優先モード設定”

“LiveViewer Lite for USB” は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。

JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。



(2) 解像度変更しない

チェックボックスを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

1280 × 800 (WXGA)

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

(3) サウンド

音声のオン/オフを切り替えます。映像と一緒に転送されてくる音声を再生すると、画質が落ちることがあります。画質を優先する場合は、チェックボックスのチェックを外し、音声を切ってください。

(4) LiveViewer Lite for USB の表示

LiveViewer のアプリケーションウィンドウを表示したい場合は、チェックボックスをチェックしてください。Windows 8 / 8.1 をご使用の際は、LiveViewer のアプリケーションウィンドウは常時表示されます。

(5) バージョン情報

“LiveViewer Lite for USB” のバージョン情報を表示します。

お知らせ

- コンピュータの解像度を変えるとデスクトップのアイコンの配置が変わることがあります。
- 「オーディオ」メニュー (図2-18) の「音声入力設定」で、USB TYPE B の設定を USB B 端子以外にしている場合は、オプションメニューのサウンドは無効になります。

USB ディスプレイ (Mac コンピュータ)

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

USB ケーブルを介して本機に画面を送信するための最小要件は以下の通りです。

- OS : Mac OS X 10.6(Intel)
Mac OS X 10.7(Intel)
Mac OS X 10.8(Intel)

このアプリケーションは Power PC に対応していません。

- グラフィックカード : 16bit、XGA 以上
- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 30MB 以上
- USB 端子
- USB ケーブル (A-MiniB) : 1 本

USB ディスプレイの開始手順

1. その他メニューで USB TYPE B 項目の USB ディスプレイを選択します。
2. 本機の USB TYPE B 端子とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
3. **USB TYPE B** 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識します。CD-ROM をダブルクリックし、そして "LiveViewerLiteForUSB_MacOS.app." をダブルクリックします。



お知らせ

- パスワード保護のかかったスクリーンセーバが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止することがあります。送信を再開するには、スクリーンセーバーを終了させてください。
- USB ケーブルが接続されているにもかかわらず "接続待ち状態です。" 表示が続く場合には、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくしてから再度接続し直して下さい。
- "LiveViewer Lite For USB" は、ホームページで最新版を入手してください。
ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>
ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。

お知らせ

- ご使用のコンピュータにインストールされているソフトウェアによっては、"LiveViewer Lite For USB" でコンピュータ画面を転送できないことがあります。
- ファイアウォール機能を備えたアプリケーションをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
- セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、"LiveViewer Lite For USB" の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。
- USB TYPE B 端子から音声信号を選択しているときに、プロジェクターで音量（設定）を最大まで上げてはまだ音量が小さい場合は、ご使用のコンピュータから音声が出力されているか確認したうえで、コンピュータの音声を上げてください。
- HDMI/MHL 端子の搭載されたコンピュータをご使用の場合は、USB ディスプレイ表示中に HDMI/MHL ケーブルの挿入 / 抜去を行うと、コンピュータのオーディオ設定が変更され、音声の乱れや途切れが発生する場合があります。その場合は USB ディスプレイを再起動してください。

右クリックメニュー

Dock のアイコンを右クリックすると右のようなメニューが表示されます。

表示 : メインメニューを表示します。

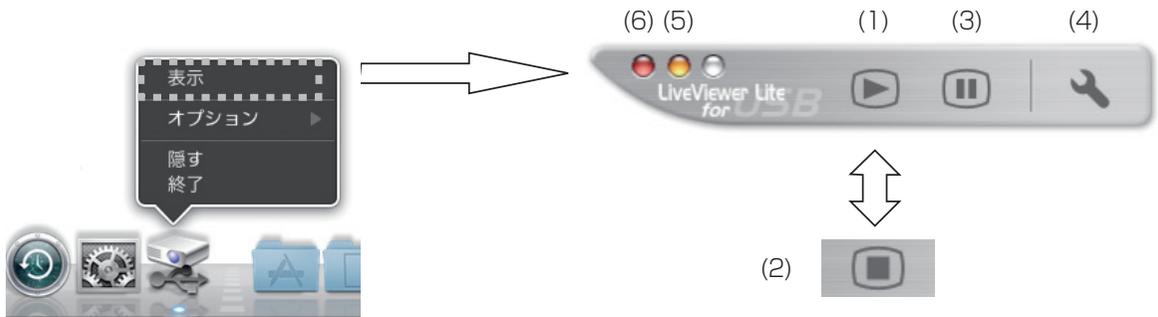
終了 : "LiveViewer Lite for USB" を終了します。



お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で "LiveViewer Lite For USB" を終了することができます。
 - ・メインメニューの終了ボタンをクリックする。
 - ・USB ケーブルを外す。
 - ・映像入力端子を切り替える。
 - ・「その他」メニューの「USB TYPE B」(図2-25) を「マウス」に設定する。
- "LiveViewer Lite For USB" を再起動するには、USB ケーブルを外して再接続するか、映像入力端子を一度切り替えて再度 USB TYPE B 端子を選択してください。

メインメニュー



右クリックメニューで「表示」を選択すると、上のようなメインメニューが表示されます。

(1) キャプチャ開始ボタン

本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。

画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン

コンピュータ画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン

コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。

コンピュータ上での作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

(4) オプションボタン

オプションメニューを表示します。(図2-52)

(5) 最小化ボタン

メインメニューを閉じ、コンピュータの Dock にアイコンで表示します。

(6) 終了ボタン

メインメニューを閉じます。

お知らせ

- キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

オプションメニュー

メインメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。

(1) “画質優先モード選択”

“LiveViewer Lite for USB” は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

(2) 解像度変更しない

チェックボックスを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

1280 × 800 (WXGA)

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

(3) サウンド

音声のオン/オフを切り替えます。映像と一緒に転送されてくる音声を再生すると、画質が落ちることがあります。画質を優先する場合は、チェックボックスのチェックを外し、音声を切ってください。

(4) バージョン情報

“LiveViewer Lite for USB” のバージョン情報を表示します。



お知らせ

- コンピュータの解像度を変えるとデスクトップのアイコンの配置が変わることがあります。
- 「オーディオ」メニュー (図2-18) の「音声入力設定」で、USB TYPE B の設定を USB B 端子以外にしている場合は、オプションメニューのサウンドは無効になります。